

学校規模適正化推進計画 保護者会説明会 の実施状況について

1. 郷野小学校

- ① 開催日時：平成 23 年 6 月 9 日（木）15:40～16:30
- ② 参加人数：保護者 37 名（保護者世帯数 48 世帯中）
- ③ 質問・意見の概要

【全般に関すること】

意見・質問	回 答
計画策定に関し、保護者に意見を求めたのか。	パブリックコメントを求めた。ホームページと広報誌で案内し、新聞の記事にもなった。意見件数は 13 件。 複式学級が増えることが予測できるため、複式学級になる前に教育条件を整備するため、方向を出したもの。
学校と地域が一体になっている。地域がさびれる。	地域が安全パトロールをしていただくなど、地域と学校が一体となった運営が行われている。その小学校で学ぶ子供たちに、より良い教育条件を整備するためどうすればよいかを考えてほしい。 地域には、今後説明をしてまわる。

【方針に関すること】

意見・質問	回 答
学校統合を進めるため、学校の建替えや耐震化工事を行っているのではないか。	可愛小学校の建替え工事は、老朽化によるもの。 耐震化については、現在、全市的に学校校舎・体育館の耐震化工事を行っている。 今回の学校規模適正化推進計画は、合併後の少子化の進行によるもので、言われる工事とは直接の関係は無い。
5 年先には統合が決定である納得してほしい、と言っているようなもの。	計画の推進期間として 5 年を定めたもの。 教育条件を整備するための市行政の方針を示したもので、意見をいただき合意形成を図りたい。

	計画書にも、通学に配慮し、保護者・地域の意見を聞き合意形成を図ると記述している。
新名称が新聞報道されている。	名称は仮称。「愛郷」とは、過去の中学校名称にあり、仮称に使用した。

【説明会に関すること】

意見・質問	回 答
条件を先に整えてもらわなければ議論できない。	今回は、市として計画策定したものを、保護者の皆さんに説明に回っているもの。
説明会より新聞報道が先であった。	計画を議会報告した段階で、情報公開として新聞取材に対応したものを。 単位 PTA には、5 月の市 PTA 総会の後に回らせていただいている。

【通学に関すること】

意見・質問	回 答
スクールバスはどこまで来るのか。計画書に小学校 4 km とあるが、直線距離か。	計画では、4 km 以上、実距離（道のり）で考えている。意見を聞き、対応を考える。 通学費補助金を含め全市で統一したい。

【跡地利用に関すること】

なし

【学校統合の具体的事項に関すること】

意見・質問	回 答
規模が小さい小学校から行く児童に不利益は無いのか。	吸収されるという考え方ではなく、新しい学校を創る考え方で進める。
学校生活、授業内容、学力など学校間での違いについてどう考えているか。	統合で合意形成ができれば、時間をかけ、授業内容、子供たちの交流など、児童に不利益がないように十分準備する。 まだ具体的な議論はしていないが、心配をいただかないよう準備する。
規模が小さい小学校から行く児童のケアについて対応はできるのか。	今後学校統合の具体的事項を進める段階で、留意点や意見をいただきながら対応する。

【その他】

なし

## 2. 向原小学校

- ① 開催日時：平成 23 年 6 月 10 日（金）14:40～15:15
- ② 参加人数：保護者 96 名（保護者世帯数 122 世帯中）
- ③ 質問・意見の概要

### 【全般に関すること】

意見・質問	回 答
平成 28 年度の見込みで、1 年生だけ 36 人で 2 学級になっているが、どうしてか。	文科省が、平成 23 年度に小学校第 1 学年だけ 35 人学級に変更した。 来年度以降の方針が決まっていないため、平成 28 年度の見込みについては、23 年度同様、第 1 学年だけ 35 人学級、その他の学年は 40 人学級で整理している。

### 【方針に関すること】

なし

### 【説明会に関すること】

なし

### 【通学に関すること】

なし

### 【跡地利用に関すること】

なし

### 【学校統合の具体的事項に関すること】

なし

### 【その他】

なし

### 3. 刈田小学校

- ① 開催日時：平成 23 年 6 月 15 日（水）19:00～20:00
- ② 参加人数：保護者 26 名（保護者世帯数 36 世帯中）
- ③ 質問・意見の概要

#### 【全般に関すること】

なし

#### 【方針に関すること】

意見・質問	回 答
統合校に根野小学校を選考した理由は。	統合校は、学校の位置、将来の児童数、学校敷地、校舎の規模、災害安全面など評価項目を定め総合的に判断した。 児童数や校舎を見ると根野小学校が良く、敷地形状では刈田小学校が良いと考えるが、総合的に判断して根野小学校の使用が良いと判断した。
いつ統合されるのか。	計画では推進期間を 5 年間としている。 統合は、保護者・地域の合意形成ができ、保護者・地域・学校・行政一体となった準備委員会で具体的な協議を進める。 準備委員会での協議が終わり次第ということで統合時期は未定である。
「合意形成」ができたという判断は。	数値的判断基準は考えていない。 説明会を行いある程度合意を得た場合には、準備委員会の委員の選出を要請する。この委員会に出ていただく段階で、合意形成ができたと判断する。
統合時期が 5 年後では遅い。 100%の賛成は不可能。子どものため早く取り組んでほしい。	複式学級の不安に対し今回の計画を策定した。 合意形成に向け協議をお願いする。

#### 【説明会に関すること】

なし

【通学に関すること】

意見・質問	回 答
生活交通を利用する場合、通学費の補助はあるのか。	皆さんから意見を聞き、市内統一した制度を検討する。

【跡地利用に関すること】

なし

【学校統合の具体的事項に関すること】

意見・質問	回 答
統合校にある児童館は利用できるのか。	統合校にある児童館の利用は可能。準備委員会において、具体的な協議を行う。

【その他】

なし

#### 4. 小田小学校

- ① 開催日時：平成 23 年 6 月 24 日（金）15:10～15:45
- ② 参加人数：保護者 28 名（保護者世帯数 46 世帯中）
- ③ 質問・意見の概要

##### 【全般に関すること】

なし

##### 【方針に関すること】

意見・質問	回 答
合意形成は何をもって判断するのか。	数値的目安は考えていない。 説明会を行いある程度合意を得た場合には、準備委員会の委員の選出を要請する。この委員会に出ていただく段階で、合意形成ができたと判断し、次の段階に進ませてもらう。
いつ統合されるのか。教育委員会の目安は。	統合は、保護者・地域の合意形成ができ、準備委員会での具体的な協議の進み具合で統合時期が決まる。 推進期間としては、5 年間を設定している。
統合ありきの話か。	この学校規模適正化推進計画は、行政の方針。 この計画書にも、保護者地域の合意形成を得て進めると明記している。
推進期間を過ぎると、計画はなくなるのか。	この小田小学校では、平成 28 年以降は恒常的に複式学級になる。 複式学級になれば、1 つの学年に教員が関わる時間は半分となり、半分は自習となる。子供たちは同じ学年を繰り返すことはできない。教育行政として、将来展望を持ち提案させてもらった。 1 町 1 小学校を基本としているので、3 小学校ある場合は 3 校の合意形成が基本であるが、仮に 2 校の合意形成ができた場合、複式学級化が迫り 2 校で進めてほしいとの要望があれば、2 校だけで進むことはある。

【説明会に関すること】

なし

【通学に関すること】

なし

【跡地利用に関すること】

なし

【学校統合の具体的事項に関すること】

意見・質問	回 答
小田小学校の独自の活動である大土山田楽については、どうなるのか。	それぞれの学校が、歴史を積み重ね伝統的に守ってきた、特色ある教育活動をどうするかは大きな課題である。 これまで積み重ねてきたものは、大事にしていくことが基本。 各学校の特色ある教育課程については、準備委員会の中に教育課程部会を作り、保護者や地域の皆さんの意見をいただき議論していく。
複式学級の実態を知りたい。	複式学級の現状についての説明資料を作り、次の説明会に持参したい。

【その他】

なし

## 5. 可愛小学校

- ① 開催日時：平成 23 年 7 月 4 日（月）19:00～19:50
- ② 参加人数：保護者 23 名（保護者世帯数 120 世帯中）
- ③ 質問・意見の概要

### 【全般に関すること】

意見・質問	回 答
統合する相手である小学校保護者会での反応は。	他校の質疑応答の概略を説明。

### 【方針に関すること】

意見・質問	回 答
統合の月は何月か。年度中途でも行うのか。	基本的には 4 月の実施。 3 月に閉校式を行い、4 月に新しい学校の開校式となる。

### 【説明会に関すること】

意見・質問	回 答
保育所や乳幼児の保護者に対する説明会の予定は。	独自に開催する予定は考えていない。 秋にかけて地域に出向き、地域振興会を対象に説明会を行うので、そこに参加していただきたい。 日程が決まると保育所等を通じてお知らせする予定。

### 【通学に関すること】

なし

### 【跡地利用に関すること】

なし



【学校統合の具体的事項に関すること】

意見・質問	回 答
<p>児童や保護者に対する事前交流計画は。</p>	<p>過去の美土里小学校の例にしても、事前に2年ぐらいかけて事前準備を行っている。準備委員会において、子どもたち・保護者のつながりをどう作っていくか、意見をいただきながら取り組みたい。準備委員会では、子供たちの気持ちを大切にしながら、具体的な準備をしっかりと行いたい。</p>
<p>統合校における教員の配置は。</p>	<p>統合による子供たちの精神的ケアができる体制を整えることを中心に考えていく。統合する際には、現在の県の制度では、加配教員が配置され、事前・事後の調整を行うこととなる。こうした加配措置を有効に活用しながら、万全な職員体制を作りたい。</p>

【その他】

なし

## 6. 川根小学校

- ① 開催日時：平成 23 年 7 月 13 日（水）19:30～21:20
- ② 参加人数：保護者 26 名（保護者世帯数 20 世帯中）
- ③ 質問・意見の概要

### 【全般に関すること】

意見・質問	回 答
学校統合は、財務省による文部科学省への指導が発端で、財政的理由が一番の原因ではないか。	財務省の指導については承知をしている。安芸高田市として財政的課題を主原因としてこの計画を策定したものではない。教育環境を整備するために計画を立てたもの。
川根のお好み住宅に入居された市民には、説明が違う感覚ではないか。	意見として聴講。
少子化は保育所から中学校までつながっていると考える。部署ごとに説明するのではなく、総合的な計画を示して欲しい。	意見として聴講。

### 【方針に関すること】

意見・質問	回 答
統合計画の前に、現状をどう補うかを試行してほしい。宮古市では「集合授業」が行われているが、こうしたものに取り組んで欲しい。	統廃合の前に色々な試みを行うことは良いこと。現在も町単位で通学合宿などを行い工夫している。 「集合授業」については研究・協議したい。
統合に関し、年限をきったものではないと理解したが、児童数を見てぎりぎりまで待つ対応はできないか。	計画期間としては 5 年間としているが、5 年後に強制的に統合するという考えはない。保護者・地域の理解を得て進める。合意形成ができれば準備委員会を作り具体的協議を行う。この準備でも 2 年以上の期間は必要。
複式学級にもメリットも多々ある。	複式学級では毎年組み合わせ学年が違い、クラスが入れ替わり、少人数の単式学級より人間関係がよい面もある。また一人ひとりが意見表明する機会が多い。下学年にお手本を示す必要により高学年が育つこともある。自学自習の態度も育つメリットもある。

	しかし教育条件として不利なこともある。教職員の配置数が不利で、教員の負担により成り立っている面もある。こうした教育条件を改善するために計画を策定した。
複式学級において教師の負担が大きいというのは、先生のデメリットである。	教育条件を整えるという視点で考えている。
高宮町で見ると平成 28 年度の児童数は来原小学校が多いが、統合校に船佐小学校を選んだ理由は。	基本的に現在ある小学校を統合校としたい。選考する際には、現在の児童数、平成 28 年の児童数、学校の敷地、校舎の老朽度、耐震化の状況、体育館など評価項目とした。学校敷地、教室の保有面積などは船佐小学校が良く、5 年後の児童数、校舎の老朽度などは来原小学校が良いが、総合的判断で船佐小学校を使用するほうが良いと判断した。
統合校について、名称には仮称がついているが位置には仮がない。決定か。	統合校については、地域の引き合いになるので、位置の方針について示させていただいた。
合意形成に向けた今後のスケジュールは。	保護者会での説明会の後、小学校区単位で地域説明会を行う。説明会については、複数回も対応したい。
合意が得られる町と合意が得られない町がある場合、得られた町だけ行うのか、市内一斉か。	この 5 年間で市内一斉に統合という事にならないと考える。
早くして欲しいという意見が出たら、その町だけ早くなるのか。	その町だけ早くなる。 市内に共通する通学などは、事前に市内共通基準を作る。

【説明会に関すること】

なし

【通学に関すること】

意見・質問	回 答
通学はどうなるか。	通学費補助については、全市でまとめたい。市内統一基準を作る。

【跡地利用に関すること】

なし

【学校統合の具体的事項に関すること】

意見・質問	回 答
規模が大きくなると、成績の悪い児童は放っておかれるようになるのではないか。	現在1年生は35人学級、その他は40人学級である。40人だと全ての児童に目が届かない現実もある。 過小規模校・過大規模校も課題はあるので、計画では適正規模20~30人という、子ども達が切磋琢磨できかつ教師の目が全て行き届くクラス規模になった。
子どもたちへの影響についてのシュミレーションは行っているか。	保護者の一番の心配は、子ども達がなじめるかということ。 準備委員会で、子ども達のための交流活動や準備について協議を行っていき、最大限の努力を行う。
学校には学校の伝統がある。川根のはやし田を子どもが受け継いでいくことはどうなるか。	歴史と伝統ある教育活動を尊重することについては大事に考えたい。 準備委員会で知恵を出してどう引き継ぐか時間をかけ考えていきたい。
児童館はどうなるのか。	放課後子ども教室、児童館については、現在の施設を活用して考えたい。
統合校における教員の配置は。	統合による子供たちの影響を抑えるため、統合する全ての学校から先生が集まり調和を取って進めていく。 また、統合する際には、現在県が加配教員を配置し、事前・事後の調整を行うこととなる。

【その他】

なし

## 7. 船佐小学校

- ① 開催日時：平成 23 年 7 月 14 日（木）19:00～19:40
- ② 参加人数：保護者 35 名（保護者世帯数 44 世帯中）
- ③ 質問・意見の概要

### 【全般に関すること】

意見・質問	回 答
<p>少子化は子どもの責任ではない。義務教育なら等しく教育していくことが必要である。</p> <p>児童数の問題ではなく、本音には財政的課題があるのではないか。今後に希望を持てるような指針を出して欲しい。</p>	<p>個人レッスンのような 1 対 1 の授業もできるが、児童数も有る程度の規模が必要である。子ども達が集団生活の中で生きる力を育むために、教育環境整備に主眼を置いて計画を策定した。</p> <p>国では財務省から文科省に指導があり、安芸高田市としても厳しい財政状況であるが、財政ありきでこの計画を立てたものではない。</p>

### 【方針に関すること】

意見・質問	回 答
<p>準備委員会において時間をかけて協議となっているが、予定スケジュールは。</p>	<p>23 年度は、保護者・地域に計画を説明する年度としている。</p> <p>合意形成ができれば準備委員会を設立する。準備委員会では、学校の名称・校旗など 0 から新しい学校を創設する全てを協議する。学校の形や教育課程、廃校になる学校史の編纂など多岐にわたり時間がかかる。</p> <p>また子ども達の事前準備も 2 年間位かかる。これらを総合すると最低でも 3 年は必要となる。</p>

### 【説明会に関すること】

なし

### 【通学に関すること】

なし

### 【跡地利用に関すること】

なし

【学校統合の具体的事項に関すること】

なし

【その他】

なし

## 8. 小田東小学校

- ① 開催日時：平成 23 年 7 月 15 日（金）19:00～20:30
- ② 参加人数：保護者 29 名（保護者世帯数 72 世帯中）
- ③ 質問・意見の概要

### 【全般に関すること】

意見・質問	回 答
統合後に、1年生は36人で2クラス、5年生は39人で1クラスとなっている。なぜか。	平成 23 年度、文部科学省が学級編成基準を1年生だけ 35 名に変更した。その他の学年は 40 人学級のため。
統合計画を新聞報道で知った。今後、統合の結論を新聞報道で知ることのないようにしてほしい。	地域の代表・保護者の代表も出ていただいた検討委員会で答申を頂き、教育効果を高める方針を計画に盛り込み計画を立てた。市議会に報告するなかで新聞発表をした。全く地域の声を尊重せず行っているものではない。 計画書には、保護者・地域の合意形成を得て進めるとしている。
どれくらいの反対があれば、統合はなくなるのか。	具体的数値は考えていないが、100%賛成という数値はないものとする。 概ね合意形成を得たと判断した段階で、準備委員会の設立をお願いする。 1校単位ではなく、甲田町内の小学校教育をどうすればよいかを念頭に置きご理解いただきたい。

### 【方針に関すること】

意見・質問	回 答
適正規模を20～30人としている。統合前に17人のクラスが統合後には39人になる。適正規模より大きいので、移行措置として30人を超えるクラスは2クラスに分ける措置がとれないか。	統合すると30人を超える学級の増加が予想される。 30人を超える場合、チームティーチングや習熟度別指導ができるような措置、また特別な指導を要する児童の支援のための教育介助員の措置など、きめ細やかな指導体制をとる。 クラスを分けることは無理である。

<p>統合校を選考したときの評価内容は。</p>	<p>新たな学校を造ることは、市の財政状況により無理であるので、既設校で選択した。 評価項目は以下の通り 平成 28 年の児童数、通学区域内の 20 歳代の市民数、統合後の通学区域から見た学校の位置、5 年後の児童数から見た総通学距離、通学路の安全性、校舎の老朽度、校舎の耐震性、教室保有面積、校舎全体面積、体育館の老朽度、体育館の面積、プールの老朽度、学校敷地面積、運動場面積、学校敷地の形状、自然環境条件、災害時の安全性</p>
<p>1 学級 20～30 人で複数学級が望ましいという答申で、小学校は 1 学級、中学校は複数学級の計画にした理由は。</p>	<p>小学校においては、吉田町以外の町では 1 校に統合しても複数学級にならない。町を越える統合では通学の負担が大きい。 中学校は現在 1 町 1 中学であり、複数学級の市内 2 校とした。通学距離も長くなるため小学校の後に取り組むとしている。</p>

【説明会に関すること】

意見・質問	回 答
<p>統合する場合のメリット・デメリットを、実際に経験された美土里小学校の保護者から聞きたい。</p>	<p>保護者の立場とは違うが、教育委員会での客観的立場から、美土里町での状況を説明する。 統合のメリットとしては、複式が解消され担任から直接授業を受ける時間が長くなる。子ども達の間関係が広がる。学校行事・体育の授業など人数が多くなり切磋琢磨ができる。 統合のデメリットとして、小学校と地域との密着度が薄れる。 保護者も、直接美土里町の保護者から聞くなどしてほしい。</p>
<p>説明会は何回もあるのか。</p>	<p>今回の説明により PTA で話し合ってもらい、具体的な疑問を聞きたいということがあれば来さしていただく。</p>



【通学に関すること】

意見・質問	回 答
小学校の場合、町域が広く1町1校にしたら通学距離は長くなる。中学校の場合は、市内2校では明らかに6kmを超える。中学校の部活動に通学バスは対応できるのか。	小学校では4km、中学校では6kmを超える場合、通学バス等で対応することとしている。 部活動についても、美土里町・高宮町の一部に通学バスを出し現在も対応している。

【跡地利用に関すること】

意見・質問	回 答
小田東小学校の耐震診断は行うのか。	公共施設については耐震化を進めたい。小田東小学校校舎も今後活用できる見込みがある場合、耐震対策を行う。 体育館については、生涯学習で活用するため、耐震診断を行い耐震工事をしたい。 校舎・体育館とも今年度診断を行う予定。

【学校統合の具体的事項に関すること】

意見・質問	回 答
統合校の教室について、教室を広げることにはできるのか。	教室を広げることは、建物構造上の問題があり不可能と考える。教室数が不足する場合は、教室を作る必要がある。 40人学級に対応できるような面積になっている。
統合校では、運動会や発表会など保護者が一同に集まる駐車場は確保できるのか。	まだ統合も決定していないので、施設整備を行っていない。様々な要望があり整備も必要となると考えている。

【その他】

なし

9. 来原小学校

- ① 開催日時：平成 23 年 7 月 26 日（火）19:00～20:30
- ② 参加人数：保護者 24 名（保護者世帯数 47 世帯中）
- ③ 質問・意見の概要

【全般に関すること】

意見・質問	回 答
市として、小学校や保育所の統合計画を進めるなら、同時に少子化対策、Uターン支援対策、雇用対策、2 人目・3 人目を生みやすくする施策を進めるべきである。	安芸高田市としても、各部局で努力している。市長部局として企業誘致など努力しているし、教育委員会も、学力向上、いじめの解消など学校経営に取り組んでいる。
適正化検討委員会には、高宮町から、来原地域から委員は出たのか。	高宮町からは、小学校保護者の代表、中学校保護者の代表、地域振興会の代表に出たいただいた。高宮町全体の代表としてである。 委員も様々な地域事情を検討委員会で述べられたが、教育効果を高めるため 20～30 人学級、1 学年複数学級が良いとの答申となった。
市の公共施設は吉田町に集まり、高宮町内の公共施設は船佐に集まっている。地域の過疎化に歯止めをかけるためにも、公共施設は一極集中でないほうが良い。小学校を残し地域を生かしていくことが良い。	適正化推進計画としては、小学校は統合したい。地域に学校がなくなることは寂しいが、子ども達の教育効果を高めるためにはどうすれば良いかを考えて欲しい。 跡地利用については、皆さんで知恵を出していただき、他の施設として残すことも可能。
検討委員会と推進本部でパブリックコメントの募集を行われたが、出た意見が少なかった。大事な問題であるので、周知を図って欲しい。今後も準備委員会で通学ことなど協議されるが、保護者に対する周知が必要ではないか。	2 回のパブリックコメントの募集で、6 件、13 件という結果であった。広報誌や新聞報道で周知を図ったが、関心を引くことが不足していたとも反省する。 今後も市のホームページ等活用し、情報公開していく。

【方針に関すること】

意見・質問	回 答
<p>統合校の位置が船佐小学校になっているが決まっているのか。</p>	<p>財政状況も厳しく新しく学校を建てることはできず、既設校を統合校としたい。                      統合校の選考では、評価項目を定め、各小学校を評価し決定した。                      学校の老朽度、5年後の児童数の面では来原小学校が良く、学校敷地、教室保有面積では船佐小学校が良いが、総合的に考え船佐小学校が良いと判断した。</p>
<p>評価された内容は。</p>	<p>評価項目は以下の通り                      平成28年の児童数、通学区域内の20歳代の市民数、統合後の通学区域から見た学校の位置、5年後の児童数から見た総通学距離、通学路の安全性、校舎の老朽度、校舎の耐震性、教室保有面積、校舎全体面積、体育館の老朽度、体育館の面積、プールの老朽度、学校敷地面積、運動場面積、学校敷地の形状、自然環境条件、災害時の安全性</p>
<p>校庭については、大きさだけが良いのではない。</p>	<p>校庭は人数により面積基準がある。その面積に達しているか否かの評価で、両校とも面積に達している。                      全市に共通する評価項目を策定した。</p>
<p>統合校の位置は決定事項か。</p>	<p>学校の位置を皆さんの話し合いで決めていただく考えはない。ただ、高宮町内の意見の全てが別の小学校が良いということがあれば考えさせてもらうこともある。                      行政の責任として、統合校を示している。                      通学距離、図書館等の公共施設との距離や、町域全体からの位置等も考え統合校を選考した。</p>
<p>現在、教育面で何の問題もない。5年という期間ではなく、問題が発生する時期に考えることはできないか。</p>	<p>近い将来、高宮町内の3小学校は全て複式学級がある状態になる。その時に考えるのでは、また5年ぐらいの期間が必要となる。複式学級になる前に考えて欲しい。</p>
<p>この計画の5年間の期間中に、小学校・中学校がある。例えば小学</p>	<p>小学校の規模適正化を、5年を目途に順次進めたい。</p>

校を3年で、その後の2年で中学校の統合ということか。	中学校はその後で、現在の予定は立てていない。
統合校は高宮支所の職員が決定したのか。	市長をトップにした適正化推進本部を作り、計画を策定した。高宮支所で統合校を検討したものではない。
位置について変更できないなら、説明会の意味がない。	市の案としては、1町1小学校とするならば、位置は船佐小学校とする方針である。
川根小学校で提案があった「集合学習」はどんなものか。教育委員会の考え方は。	小規模校がそのまま存続するために、小規模校のデメリットを解消する工夫。北広島町や安芸太田町でも行われている。 例えば高宮町で言えば、3小学校が合同で体育、音楽や算数などの教科を行い、多人数でなければできない運動や音楽、多くの児童の意見に触れ合える機会を作る授業。教育委員会としては、校長会などと現在研究中であるが、多くのデメリットもある。集まるための通学時間、3校が同じ授業を受けるため、それまでの授業進度の調整、当日の学習内容の協議など多くの準備時間を費やすなどデメリットも多く、これに変わる形態も含めて研究中。

#### 【説明会に関すること】

意見・質問	回 答
今後、地域での説明会の予定は。	7月4日に「まちづくり委員会」に計画の説明を行った。 今後は、小学校区単位で、地域振興会で説明する予定。

#### 【通学に関すること】

意見・質問	回 答
統合校に行くとなれば、この地域は遠距離通学となる。 スクールバスの範囲、集合場所や便数など、どの程度配慮があるのか。	小学校では4km以上の場合スクールバスや生活交通の利用としている。 具体的には、準備委員会において意見を聞きながら協議していく。 子ども達の負担にならないよう、最大限の配慮を行う。

【跡地利用に関すること】

なし

【学校統合の具体的事項に関すること】

意見・質問	回 答
来原小学校にとってのメリット・デメリットは検討しているのか。児童の規模だけを検討しての計画なのか。	子ども達の教育条件を良くするため、学校をまとめるほうが良いという答申に基づき計画を策定した。 通学や跡地利用など、今後整理していく。
制服や体操服など、保護者に新たな経済的負担が生じる。負担軽減策は。	制服や体操服についても、準備委員会での協議となる。 校則や制服、体操服などの具体的準備にも2年間ぐらいの期間が必要となる。 経済的負担についても配慮しながら検討したい。

【その他】

なし

## 10. 甲立小学校

- ① 開催日時：平成 23 年 7 月 27 日（火）19:00～20:30
- ② 参加人数：保護者 19 名（保護者世帯数 53 世帯中）
- ③ 質問・意見の概要

### 【全般に関すること】

意見・質問	回 答
<p>教育の論理として統合が必要ということとは理解する。</p> <p>廃校になる校舎を利活用するとなると、現在の小学校の配置より統合されたほうが経費について多く必要ということも考えられる。</p> <p>市民は保護者だけではない。多くの市民の理解を得るためにも、統合すると現在より経費が抑えられるとか、これだけ費用が多くかかるが理解して欲しいとか、財政負担の資料が必要ではないか。</p>	<p>一般論で考えて、集まることにより経済効率は良くなる。集約したほうが維持費や修繕料は安価になる。</p> <p>ある程度の財政負担がかかっても、教育効果を高めるためには学校の適正配置が必要と判断した。</p> <p>財政負担の資料については、作成する。</p>
<p>学校を通じての広報をして欲しい。</p>	<p>広報手段としては、市広報誌、市ホームページ、新聞報道等を活用して広報している。</p> <p>今後学校を通じて情報提供するよう体制を整える。</p>
<p>適正化推進計画に関する相談窓口はどこか。</p>	<p>教育委員会教育総務課。</p> <p>ミニ集会等にも積極的に出向くので、連絡いただきたい。</p>

### 【方針に関すること】

意見・質問	回 答
<p>統合の最大のメリット・デメリットは何か。</p>	<p>教育内容面で回答すると、最大のメリットは、適正な生徒規模数になることにより子どもの人間関係において生きる力を育成できること。デメリットとして、通学における課題や児童数が多くなった場合きめ細やかな指導ができないこと。デメリットについては対策を講じる予定である。</p>

これまで「競争させない教育」が行われてきたが、今回の競争できる教育環境づくりと、方向性はどちらを向いているか。	以前は競争させない教育価値観が流れた時期もあったが、現在、市の教育は、適度な競争の中でお互い切磋琢磨しながら伸びていくことが良い環境と考えている。
---	---

【説明会に関すること】

なし

【通学に関すること】

なし

【跡地利用に関すること】

意見・質問	回 答
統廃合の後の校舎はどうなるのか。	解体するか地域のために活用するかは、今後の保護者・地域との協議による。

【学校統合の具体的事項に関すること】

意見・質問	回 答
放課後児童クラブについて現在それぞれの学校にあるが、統合後はどうなるか。	基本的には、統合後の学校の近くに必要人員で整備することとなる考える。 具体的には、準備委員会で要望を聞きながら協議することとなる。
保育所では勤務先近くの保育所に通うことができるが、小学校の入学時には居住地にある小学校への通学となる。 統合が決まったなら、移行期間中に小学校の通学区域の弾力化を行ってもらえないか。	現在学校を選択できる方法が2つある。 1つは通学区域の弾力化。小学校5年生進学時と中学校進学時に選択できる。 もう1つは指定校変更申出。9つぐらいの申し出理由が該当する。 通学区域の弾力化の緩和については、準備委員会で具体的課題となった場合、意見を聞きながら検討したい。

【その他】

なし

## 1 1. 根野小学校

- ① 開催日時：平成 23 年 8 月 21 日（日）9:35～10:30
- ② 参加人数：保護者 55 名（保護者世帯数 73 世帯中）
- ③ 質問・意見の概要

### 【全般に関すること】

なし

### 【方針に関すること】

意見・質問	回 答
計画期間は 5 年間となっているが、実際の統合時期は？	今年度は周知を図る年としている。保護者会での説明の後は地域に説明を行う。合意形成ができたなら、準備委員会で具体的事項の協議を進めたり、子ども達の交流等も行う。美土里町の例を見ても最低 2 年必要で、今年を含めて 3 年は要すると考えている。 ただし、協議等がスムーズに進むと短くなることもある。
中学校の統合時期は？	中学校の計画は、市内で 2 中学校としている。町を跨ぐ統合になり通学距離も長くなり、実際の計画は小学校の統合を見てのこととしている。

### 【説明会に関すること】

意見・質問	回 答
説明会について 30 分という時間設定は短い。	今回は初めての説明会ということで、こうした時間設定となった。 今後保護者会で協議していただき、話を聞きたいということがあれば、又来させていただく。

### 【通学に関すること】

なし



【跡地利用に関すること】

なし

【学校統合の具体的事項に関すること】

意見・質問	回 答
小学校プールに藻が湧いたりする。改善して欲しい。	プールについては、建築年度が古い施設が多くある。教育委員会として、1町1プールで維持管理したい。八千代町の場合B&Gプールが良いと考えている。 学校体育についても、バスを借り上げて、B&Gプールで水泳を行いたいと考えている。
夏休みに児童館を利用している児童は、プール利用ができるのか？	夏休み期間中については、個人利用は個人で行き来の対応となる。 児童館については、児童館も統合となる見込みであり、準備委員会での具体的協議となる。

【その他】

なし

## 12. 吉田小学校

- ① 開催日時：平成23年9月26日（月）19:00～20:00
- ② 参加人数：保護者14名（保護者世帯数 285世帯中）
- ③ 質問・意見の概要

### 【全般に関すること】

なし

### 【方針に関すること】

意見・質問	回 答
今回の計画は、答申による20～30人の適正規模にこだわらず、複式学級の解消ですすめるのか？	複式学級の解消を最優先に進めたい。

### 【説明会に関すること】

なし

### 【通学に関すること】

なし

### 【跡地利用に関すること】

意見・質問	回 答
廃止小学校の跡地利用の実態は？	丹比西小学校校舎は、適応指導教室あすなる学級として活用している。 美土里町の旧小学校跡地は、各地域で跡地活用方法を考えられ、地域にあった活用をされている。

### 【学校統合の具体的事項に関すること】

意見・質問	回 答
教員定数の激変緩和措置とは？	学校統合においては学級数が半分になったりして、担任教員数が大幅に減る例もある。こうした激変を緩和する措置があり、配慮が必要と判断された場合、小学校では最長5年間で緩和措置が取られる。

	現在の状況では、おおむね、統合する前の年と統合後1年間は加配措置がとられている。
運営費（地方交付税）の激変緩和措置とは？	義務教育は全国等しく教育を受けることであるが、市町により財政力に差があるため国税を地方に配分する仕組みが地方交付税。 交付税に教育費の項目があり、学校数、学級数、児童数等で計算し配分される。 統合すると学校数や学級数が激減するが、これを緩和し、教育費の激減を緩和する措置が取られている。
統合後きめ細やかな配慮は継続されるのか？	非常に大事なことと考えている。 現在もきめ細やかな措置を行っている。県費の教職員については、学級数に応じた定数配置、統合加配とあるが、市としてもきめ細やかな措置で対応したい。 また、統合前の教職員が統合校に配置され、児童をケアできるよう人事についても配慮したい。

【その他】

なし

### 13. 美土里小学校

- ① 開催日時：平成23年10月19日（水）15:50～16:20
- ② 参加人数：保護者39名（保護者世帯数 112世帯中）
- ③ 質問・意見の概要

#### 【全般に関すること】

なし

#### 【方針に関すること】

意見・質問	回 答
中学校の配置数は2校となっているが決定か？	答申ではクラス規模20～30人、複数学級となっている。答申の主旨を尊重し、中学校は2校としている。
中学校2校の場合、通学特に冬場のバス通学が困難なことも予想される。	中学校の配置場所については、白紙である。冬場の通学課題については、道路整備など市長部局と総合的に進めて、課題解消のため努力していく。

#### 【説明会に関すること】

なし

#### 【通学に関すること】

なし

#### 【跡地利用に関すること】

なし

#### 【学校統合の具体的事項に関すること】

なし

#### 【その他】

なし

#### 14. 川根小学校（第2回：「和は力」学習について）

- ① 開催日時：平成23年10月19日（水）19:00～20:10
- ② 参加人数：保護者17名（保護者世帯数 20世帯中）
- ③ 質問・意見の概要

##### 【「和は力」学習に関すること】

意見・質問	回 答
3・4年生が複式学級になっている。「和は力」学習を行う時、3年生はどうしているのか。	川根小学校で交流学习を行う場合は、3年生も一緒に学習をする。 他校で行うときは、3年生は小学校に残り、独自で学習するように考えている。
多くの学校の複式化が見込まれるため、3年生からの実施がしやすいのではないかと。	試行しながらの拡大も考えられる。一緒に考えて行きたい。 現在すぐには統合できない状況で、少しでも前向きな方向を考えた。
具体的な教科は。	大人数での教育効果が見込まれる教科を考えている。例で示すなら、体育や音楽など。
交流学习の頻度は。	当面1学期に1回を考えている。時間ロスや負担が少ないなら回数増も考えられる。
川根小学校は人数が少ない。自分の子どもも、早くから交流学习をしてもらったので、子どもも中学校入学時に大きな不安はなかった。交流学习は重要である。	意見として傾聴
交流学习の評価をどうやって保護者に返すのか。	保護者会などの場で、意見交換をしていきたい。保護者の皆さんも普段から子どもさんの状況や声を聞いていて欲しい。
教職員への新たな負担に対する支援策は。	現在の体制の中で試行したい。特別な支援策は考えていない。
保護者も、交流学习により市の統合方針が白紙に戻ったとは考えていない。有効な方法を試さず安易な数合わせの統合はおかしいという思い。	この「和は力」学習を実践し、課題成果を見ながら、将来に繋げていきたい。
当面は交流学习を進め、並行して統廃合を進めるのか。	大局的に考えて進める。交流学习は1学期に1回程度で、統廃合を行えば毎日の学校生活で効果が生まれる。学校規模の適正化を進めていく必要がある。

【方針に関すること】

意見・質問	回 答
中学校の統合は。	計画では答申を尊重して市内2校としている。配置は白紙の状態である。小学校を5年間で進め、その後という事になる。
中学校が2校になれば、通学時間がかかり、クラブ活動など制限を受けるのではないか。	中学校の統合については、中学校の位置、寮の整備、交通基盤の整備などもう少し検討し整備しなければならない。
中学校の統廃合について、校舎の耐震化とは関係がないのか。	統廃合と校舎の耐震化は、直接の関係はない。 小学校の統合の場合、新校舎を建てたいが財政的余力がないので、現校舎を利用している。

【通学に関すること】

なし

【跡地利用に関すること】

なし

【学校統合の具体的事項に関すること】

なし

【その他】

なし